

石神井公園駅 南口再開発勉強会

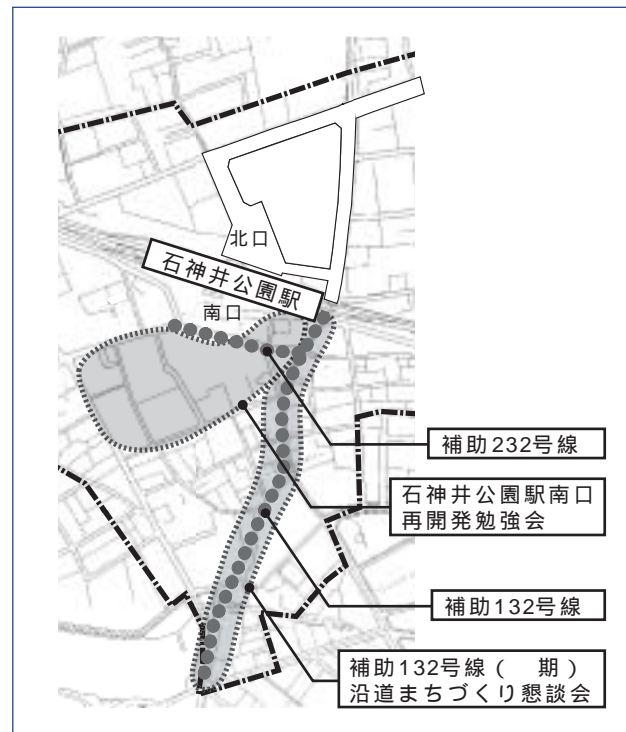
駅の南口では、地元の方々の中で、将来の街のあり方を見据え、建物の共同化への関心が高まっています。

区では、昨年来、共同化の目的や仕組み、他の地区の事例等を題材に勉強会を開催し、地元の方々による建物共同化の機運を支援しています。

また、共同化についてのアンケート調査を実施して、共同化に対する考え方の傾向等をまとめて、勉強会での題材としています。

今後も、地元の方々と一緒に駅南口地区のまちづくりを検討していきたいと考えております。

勉強会と懇談会の範囲



補助132号線(二期) 沿道まちづくり懇談会

区では、鉄道の連続立体交差化にあわせて、駅東側を南北に通る都市計画道路「補助132号線」のうち、踏切からポート池までの区間(二期)の整備を進めたいと考えています。

そこで、道路整備を踏まえた沿道のまちづくりのあり方を検討していくため、沿道の方々との懇談会を2月に開催いたしました。

また、アンケート調査を実施して、今後、沿道のまちづくり等に対する考え方の傾向をまとめていきます。



懇談会のようす

まちづくりニュース

石神井公園駅周辺のまちづくりについては、これまでも「まちづくりニュース」などを通じて、地域の皆様にお知らせしてきました。今後も、駅周辺のまちづくりの進捗状況に合わせて発行するよう考えていますので、ご愛読くださるようお願いいたします。なお、以前に発行した「まちづくりニュース」をご覧になりたい方は、担当までご連絡下さい。

「まちづくりニュース」(創刊号～第9号)練馬区都市整備部発行
平成11年12月～平成15年4月

ご意見・ご要望

まちづくりニュースの内容に関するご質問や、ご意見等がありましたら、下記までお知らせ下さい。

練馬区都市整備部まちづくり第二担当課
TEL 3993-1111(内線8625)羽成、長谷川、関口
メールアドレス machi2@city.nerima.tokyo.jp

石神井公園駅周辺地区

まちづくり ニュース

第10号

平成16年3月

発行 練馬区都市整備部
まちづくり第二担当課

今号の内容

- 1面：都市計画素案説明会開催・今後の進め方
- 2面：都市計画素案の概要
- 3面：石神井公園駅駅前広場計画の概要
- 4面：勉強会・懇談会の状況・まちづくりニュース

都市計画素案説明会開催

石神井公園駅周辺のまちづくりについては、昨年1月と3月に開催した説明会での地域の方々からのご意見を参考に、将来の駅周辺のまちづくりの目標を示した基本構想と、具体化への流れを示した段階構想の2つからなる「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」を平成15年6月に策定しました。

そのなかでは、「南北の自由な往来」「踏切渋滞の解消」「南口駅前広場の整備」「駅北口へのアクセス路の整備」などがまちの課題としてあげられています。

このまちづくり全体構想の具体化となる都市計画素案の説明会を、平成16年1月27日(火)、28日(水)に東京都・練馬区・西武鉄道の共催により開催しました。

素案の内容は、以下の3項目です。

1. 西武池袋線(練馬高野台駅～大泉学園駅間)の連続立体交差化計画および西武池袋線(練馬高野台駅～石神井公園駅間)の複々線化計画について
 2. 石神井公園駅駅前広場(補助232号線交通広場)計画、補助232号線の車線数の決定について
 3. 鉄道附属街路(第16号～18号線)及び特殊街路自転車歩行者専用道第1号線計画について
- この3項目のうち、石神井公園駅駅前広場については、区ではこれまで地元の皆様からのご意見を踏まえながら、東京都・警視庁・西武鉄道などの関係機関と協議・調整を進めてきました。その結果、駅前広場計画に関する区の考え方をまとめ、昨年12月に駅前広場の都市計画決定を行う東京都に報告しました。

東京都では、区から報告を受けて都市計画素案を作成し、説明会で皆様に提案しました。

この素案説明会から工事着手までの進め方を1面下に、素案の概要を2面に掲載しています。

練馬区としては、石神井公園駅周辺地区をより良い環境に整備していくため、今後も地域の皆様からのご意見・ご要望をお聞きしながら、皆様のご理解とご協力を得て、事業を推進していきたいと考えています。

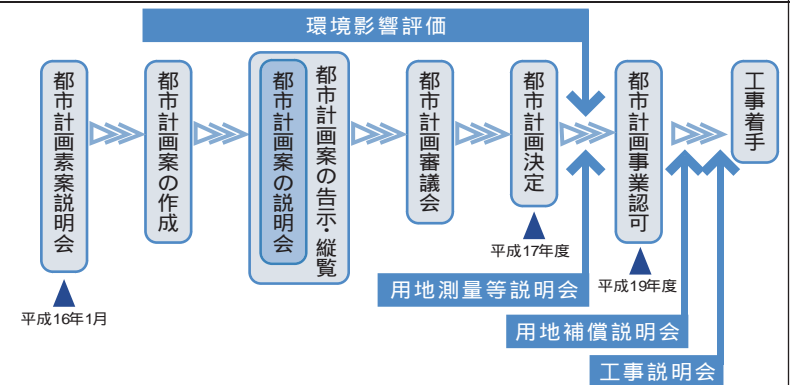
今後の進め方

西武池袋線の連続立体交差化・複々線化計画における、都市計画素案説明会から工事着手までの流れは図のようになります。

今回あわせて提示した駅前広場と道路の都市計画素案については各々独立した項目ですが、それぞれ関係が深いため、都市計画決定などは同じ時期に行う予定としています。

なお、環境影響評価については、連続立体交差化・複々線化計画のみ対象となります。

連続立体交差化・複々線化計画の都市計画決定は平成17年度に、事業認可は平成19年度に行うことを目標に進めていきます。



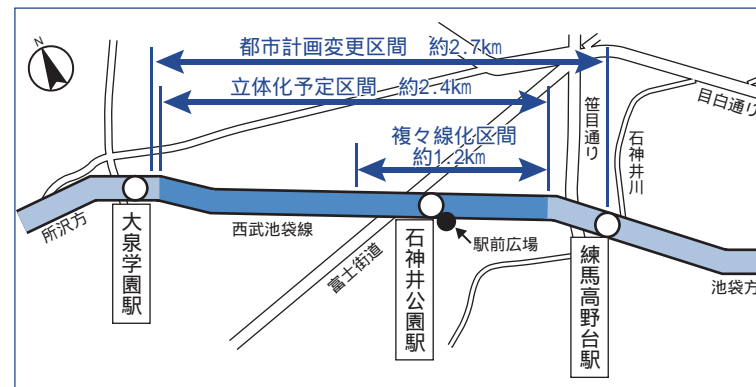
都市計画素案の概要

連続立体交差化・複々線化計画について-----東京都・練馬区・西武鉄道-----

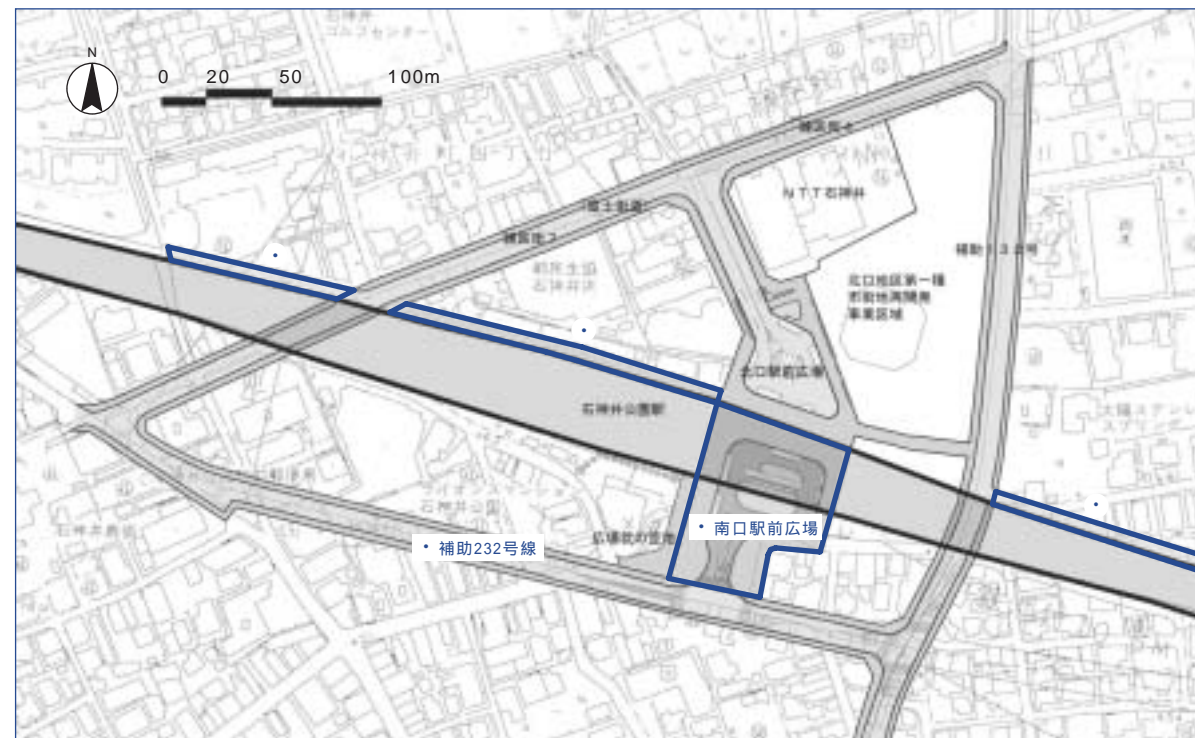
西武池袋線の立体交差化計画は、練馬高野台駅付近から大泉学園駅付近までの約2.4kmについて鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するとともに、練馬高野台駅付近から石神井公園駅付近までの約1.2kmを複々線化するものです。

この計画を推進することにより踏切での慢性的な交通渋滞の解消など、鉄道と道路それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道により隔てられていた地域が一体化されるとともに、鉄道と交差する都市計画道路および駅前広場等を整備することにより、安全で快適なまちづくりに大きく寄与します。

また、鉄道の複々線化を急行停車駅である石神井公園駅まで延伸することにより、ラッシュ時の混雑緩和や所要時間の短縮などが図られます。



石神井公園駅駅前広場と道路計画について-----東京都・練馬区-----



石神井公園駅駅前広場

この計画は、高架下空間を北口駅前広場と同じ幅で南口に連結させて、南北が一体化した駅前広場として整備するものです。そして、駅に集中してくる交通を安全、円滑に処理、連結する交通結節機能と、駅を利用する方などが、憩い、集い、語らう交流の場の提供など、都市の広場機能をあわせ持つ駅前広場とします。また、西側に広場状の空地を設け、歩行者空間の拡充を行い、商店街への見通しを確保いたします。

都市計画としては補助線路第232号線に付属する交通広場として決定します。

側道

鉄道の高架構造物の北側に沿って側道を計画します。これらの側道により、良好な住宅地の環境保全や駅などへのアクセス向上、周辺地域の安全性や防災性の向上などを図ります。

名称	計画内容	都市計画決定権者	備考
東京都市計画道路幹線街路補助線路第232号線	幅員：16m 車線数：2車線 延長：約4,380m	東京都	補232
	交通広場の新設 面積：約4,400㎡		石神井公園駅前広場
東京都市計画道路特殊街路練馬自転車歩行者専用道第1号線	幅員：6m 延長：約160m	練馬区	練自歩1 [側道]
都市高速鉄道西武鉄道池袋線付属街路第16号線	幅員：6m 延長：約300m		鉄池付16 [側道]
都市高速鉄道西武鉄道池袋線付属街路第17号線	幅員：6m 延長：約60m		鉄池付17 [側道]
都市高速鉄道西武鉄道池袋線付属街路第18号線	幅員：6～10m 延長：約1,300m		鉄池付18 [側道]

付属街路第18号線は、線路北側の練馬女性センターから大泉学園駅までの区間です。

石神井公園駅駅前広場計画の概要

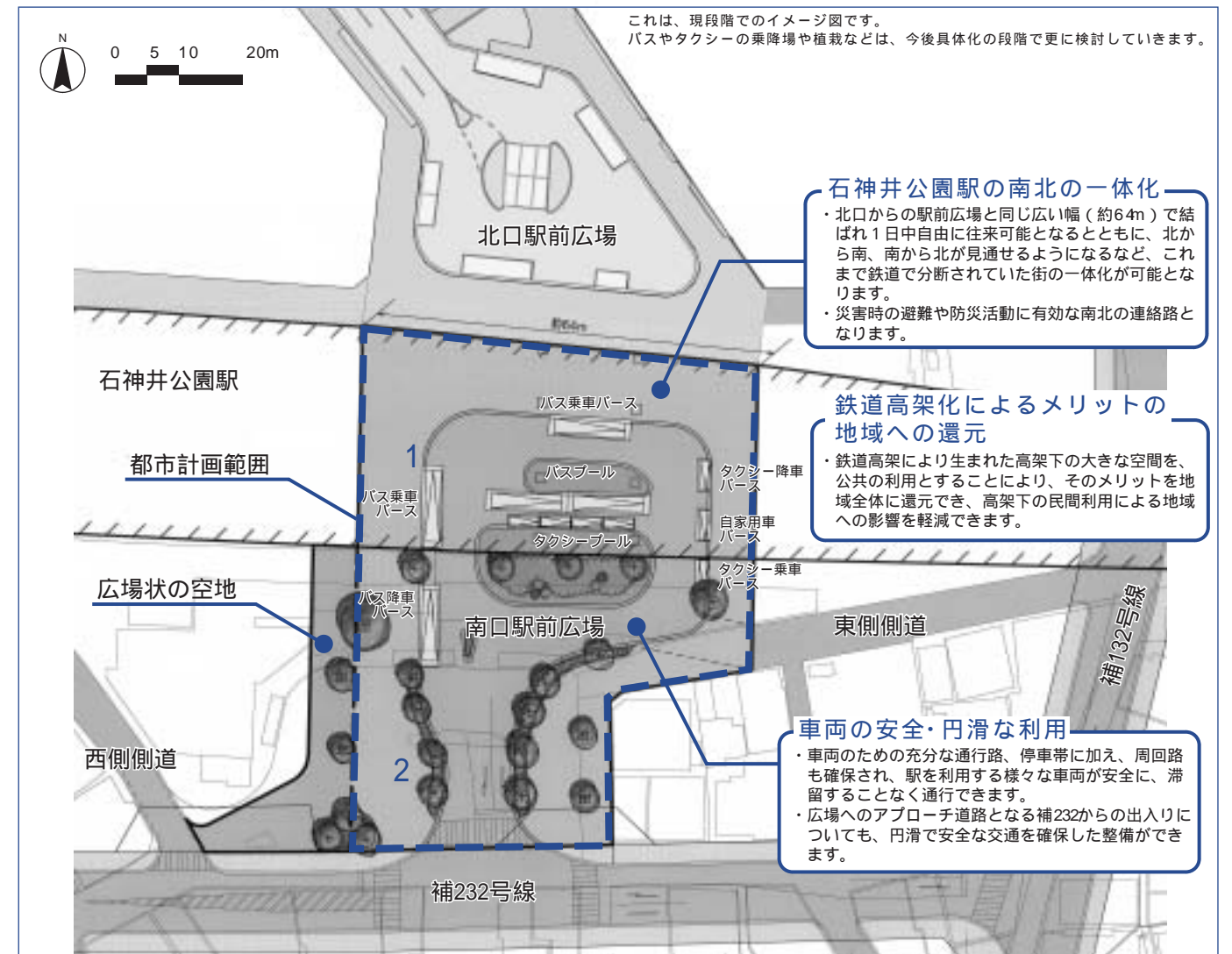
石神井公園駅駅前広場の計画については、これまでに駅周辺の方々との懇談会・情報コーナー・説明会などを通じて、ご意見・ご要望を数多くいただきました。

区では、皆様から寄せられたご意見・ご要望を踏まえつつ、東京都・警視庁・西武鉄道などの関係機関との協議を行ってきた結果、下図の「南北一体広場」を石神井公園駅に最もふさわしい駅前広場の計画としてまとめました。

この区の方針を受けて、都市計画決定を行う東京都が、左ページの都市計画素案を作成したものです。（なお、事業の施行は練馬区が行う予定です。）

この計画は、以下のような優れた特徴があると考えております。

整備イメージ図



石神井公園駅の南北の一体化

- ・北口からの駅前広場と同じ広い幅（約64m）で結ばれ1日中自由に往来可能となるとともに、北から南、南から北が見通せるようになるなど、これまで鉄道で分断されていた街の一体化が可能となります。
- ・災害時の避難や防災活動に有効な南北の連絡路となります。

鉄道高架化によるメリットの地域への還元

- ・鉄道高架により生まれた高架下の大きな空間を、公共の利用とすることにより、そのメリットを地域全体に還元でき、高架下の民間利用による地域への影響を軽減できます。

車両の安全・円滑な利用

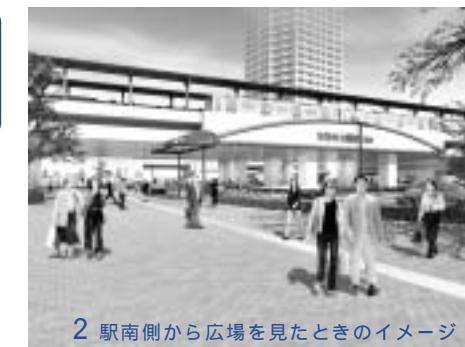
- ・車両のための十分な通路、停車帯に加え、周回路も確保され、駅を利用する様々な車両が安全に、滞留することなく通行できます。
- ・広場へのアプローチ道路となる補232からの出入りについても、円滑で安全な交通を確保した整備ができます。

駅を利用する人にやさしい広場

- ・駅の改札を出るとすぐに南北の街が見渡せ、広い歩道を通って、あらゆる方向に安全に向かうことができます。
- ・雨天時でもバスやタクシーへの乗り換えや待ち合わせなどが、高架構造物が屋根となるため、傘をささずに快適・便利に利用できます。



1 高架下広場のイメージ



2 駅南側から広場を見たときのイメージ

計画の円滑な実現

- ・この都市計画素案については、東京都・警視庁・西武鉄道などの関係者が概ね了承しており、今後の都市計画決定やその事業化が円滑に行えます。

歩行者の安全・快適な利用

- ・広い歩行者のための空間が確保され、バスを待っている人や待ち合わせなどで佇む人も、また歩いて通行している人にとっても、安全で快適な人のための空間が整備できます。

「都市計画素案」については、区ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.ci.ty.neri.ma.tokyo.jp/>